

[報告]

**小林広明センター長特別補佐が「情報化促進貢献個人等表彰」
文部科学大臣賞を受賞しました**

本センター・センター長特別補佐の小林広明教授（情報科学研究科）が、平成 29 年度情報化促進貢献個人等表彰文部科学大臣賞を受賞しました。

この賞は、教育・科学技術・文化・スポーツの分野における情報化の促進に関し、教育の情報化、又は情報分野の研究開発等において、顕著な貢献のあった個人又は団体等について、文部科学大臣が表彰することにより、更なる情報化の促進を図るとともに、情報化に対する国民の認識と理解の醸成に寄与することを目的に実施されているもので、情報化月間の実施に併せて毎年表彰を行っております。今回の受賞は、受賞理由にもありますように小林教授の本センターにおけるスパコンへの取り組みが高く評価されたもので、今後、さらなる研究成果の推進が期待されます。

【受賞理由】

小林広明教授は、長年にわたり、我が国のスパコン要素技術の研究開発やスパコン政策の意思決定に深く携わり、我が国における計算機分野の発展及び人材育成に顕著な貢献を果たしてきました。

さらに、これまでの学術・産業利用のみにとどまらない新たなスパコンの在り方として、平時に学術利用されているスパコンを緊急時・災害時に減災のために役立てる取り組みを行っています。この取り組みは東北大学が中心となって産学官で研究開発を進めている津波浸水・被害推計システムに取り入れられており、さらに当該システムは平成 29 年 11 月より内閣府の総合防災情報システムの一機能として採用されるなど、我が国の国民生活の安全・安心に資するものとして高い評価を得ています。

詳細：平成 29 年度「情報化促進貢献個人等表彰」～文部科学大臣賞受賞者の決定～

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/09/1396368.htm